



デジタルで聴く 明治・大正・昭和の音

富山大学中央図書館・医薬学図書館・
芸術文化図書館で

「歴史的音源」をご利用いただけます。



歴史的音源とは？

「歴史的音源」とは、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HiRAC)がデジタル化した、1900年初頭から1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源です。
全音源数は、約5万音源です。

含まれる音源

落語、長唄、楽曲(ギター、琴、尺八等)、歌劇、浄瑠璃(義太夫節、清元節、常磐津節)、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズ等、様々なものが含まれています。音源提供者は、日本放送協会(NHK)、日本コロムビア、ビクターエンタテインメント、キングレコード、テイクエンタテインメント、ユニバーサルミュージック(EMIミュージック・ジャパン分を含む)です。

収録タイトル例

- 『謡曲 羽衣』(ニッポノホン、1910頃)
謡：宝生九郎
- 『落語 うどんや』(コロムビア、1922)
落語：柳家小さん(3代目)
- 『富岡先生(新国劇)』(ビクター、1928)
原作：国木田独歩
脚色：真山青果、出演：沢田正二郎ほか
- 『演説 普通選挙について』(コロムビア、1928)
(ニッポノホン、1928)
演説：尾崎行雄
- 『乙女の祈り』(キングレコード、1960)
作詞：音羽たかし、作曲：宮川泰、歌：ザ・ピーナッツ
など多数…

利用するには

館内の特定の端末でのみご利用いただけます。お近くの職員にお声がけください。なお、複製やダウンロードはできませんので、ご了承ください。

ぜひ
ご利用
ください！

